

# futbol y vida

Poco a poco ...  
Poco a poco ...



令和三年度が無事に終了!!  
新シーズンに向けて準備をする!!

## 新型コロナと向き合いながらの令和三年度が無事に終了 !!

### 春の“football carnival”で、新シーズンに向けレベルアップを図る!!

3月25日(金) 令和三年度修了式が行われサッカー部員全員無傷のまま無事に進級できました(当たり前のことなのですが、今回心配なものが数名いたので教科担当の先生方には感謝です)。

今年度も新型コロナ感染拡大防止の影響を受け活動にも制限がありました。昨年度のように休校することもなく、また、公式戦は全て予定通り実施されました。高体連の公式戦では残念ながら結果は出ませんでした。地区のユースリーグは**7勝1分(勝ち点22)**という好成績で優勝を収め、来年度のリーグ一部復帰を決めました。



<片倉山のサクラは満開>

11月には、新チームで臨んだ新人戦(関東大会予選)で、最大のポイントとなる**昭和第一学園戦**で何度も作った決定的な場面を決めることができずに**0-1**で敗退。しかし、そこでの活躍が認められ、U16東京都地区選抜大会に第七地区代表として三名の選手が選出されるなど、日頃の取り組みの成果が少しずつではありますが見られるようになりました(新型コロナオミクロンの蔓延と日程の関係で、残念ながら最終的に中止となりました)。

現在チームは、1月末のTRMを最後に二か月近くトレーニング中心に個々のベースの底上げを図ってきました。また、今年の冬は片倉高校サッカー部初の“鍛錬期”や“寒稽古”を実施することができ、春の遠征合宿こそ断念しましたがその代替えとして春休みは“football carnival”と称して多くのチームを招待して片倉高校のグラウンドでゲーム三昧の日々を送っています。21日の久しぶりのゲームでは大差をつけたもののこの時期の完成度としては不十分でした。トレーニングだけでは身に付かないもの、正に“ゲーム感”を取り戻すには少し時間が掛かりそうです。春休みの「ミニ武者修行」で何処まで巻き返せるか?新シーズン開幕前に向けての課題です。

また、新入生招集日以降、51期生(新入生)も意欲的に練習に参加し始めました。トレーニングを見ているとフレッシュな風が上級生にもいい刺激となっているように思えます。そして、高校サッカーに憧れて入部して来る後輩たちに、プレー面だけではなく取り組み姿勢や行動を先輩として示して欲しいと思います。今年も意識とスキルの高い即戦力として期待できる生徒が入部予定です。チーム内で競争意識が芽生え、お互いに切磋琢磨し、チームの活性化に繋がり成長していきます。新年度、2022新チームが**「進化」**していくのかとても楽しみです。



<春の武者修行で揉まれ新シーズンに挑む>

## 「**第二回 K's football 少年サッカー大会**」

～令和から未来へ、日本のフットボールを変えるのは君たちだ!! コロナに負けるなサッカー少年～

先月末、片倉高校グラウンドで「**第二回 K's football 少年サッカー大会**」を行いました。今年度は二回目の少年サッカー大会の開催となります。参加チームは12チームで、殆どが現部員のジュニア（小学校）時代の出身チーム。今のベースを作って頂いた場所でもあります。多くのコーチや保護者の方にお世話になり今があるので、その恩返しができるのではないかと考えています。久しぶりに再会するコーチたちと懐かしそうに話しをする姿も見られました。身体は大きくなって、顔つきも生意気そうに見えるかもしれませんが、小さい頃の面影は残っています。やはり、自分の教えた子どもたちが高校でサッカーを続けているのは嬉しいものです。多くのコーチ陣からそんな言葉を掛けられました。また、会場準備、大会運営、審判、子どもたちの世話役など（ここは次回以降の課題ですね）全て高校生が行いました。もちろん、上手い出来ないことも多々ありましたがそれも全て勉強です。反省を活かし、次回に繋げていきます。

そして、今回も子どもたちやチームスタッフ、保護者の方々へ、片倉高校サッカー部で取り組んでいることの一部に触れていただくことで、サッカーサービスを共有でき、将来のあるサッカー少年たちの意識改革に繋がればいいと思い、サッカー部に関わって頂いているスタッフの方々やスポーツショップ及びメーカーの方にも、この趣旨に賛同していただき協力してもらいました。「サッカーは足元から」ということで、アドバイザーの**三林氏**による「**正しいスパイクの選び方**」「**足趾のトレーニング**」のレクチャーや、スペシャルスキルコーチの**小俣氏**による「**身体の扱い方とボールコントロール**」をテーマに講習会やミニゲームにチャレンジなど内容は盛りだくさんでした。

その他にも、今大会もモアスポーツの**善本**さんからは指導者要らずのボール「**ダービースター**」を大会使用球として提供していただきました。サッカー少年だけではなく、保護者やスタッフの方々からも大好評でした。今後も、継続していきたいと考えています。

今回、小学生にとっては卒業大会となりましたが、普段とはサイズ感の全く違うたくさんのサッカー少年たちが、一日中日楽しそうに片倉高校の広いグラウンドでボールを追いかけている姿は微笑ましいものです。サッカー少年たちのひた向きなプレーの中に、忘れてはならないスポーツのエッセンスがあると思います。高校生にも是非気付いて欲しいものです。そして、今大会でも、高校生顔負けのプレーで驚かせてくれた少年たちが何人もいてビックリしました。ジュニアユースでの活躍が楽しみです。子どもたちの伸びしろを感じました。**日本サッカーの未来は明るい!!**

この中から、数年後に片倉高校のユニフォームに袖を通し、高校サッカーで活躍するサッカー少年が現れることが夢です（今年、前任校では実現します）。



<混沌とした時代だからこそ、子どもたちの笑顔は、**パワー**になります!!>